

第3回大阪スマートシティ戦略会議

泉北ニュータウン地域の再生とスマートシティ

令和元年10月31日

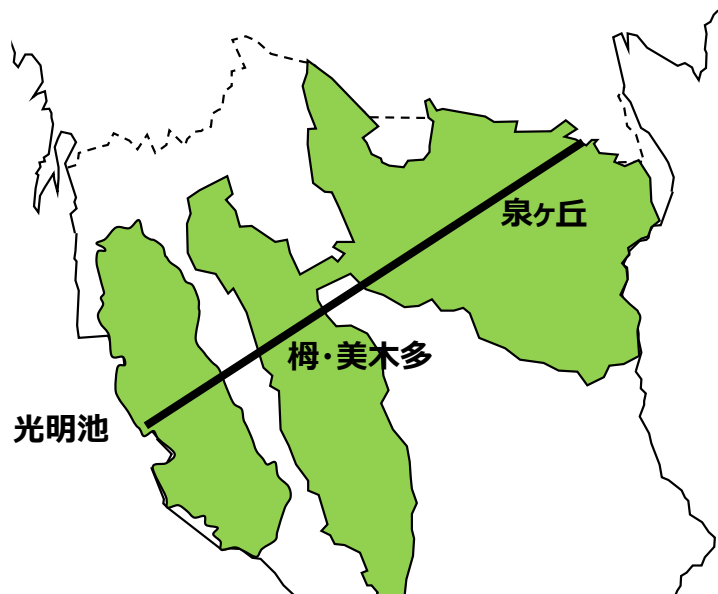
堺市長 永藤 英機

■ 泉北ニュータウンについて



面積 約1,511ha (堺市域のみ)
人口 約12万人
世帯 約5万6千世帯
(令和元年8月)

課題① 起伏ある地形



【課題】

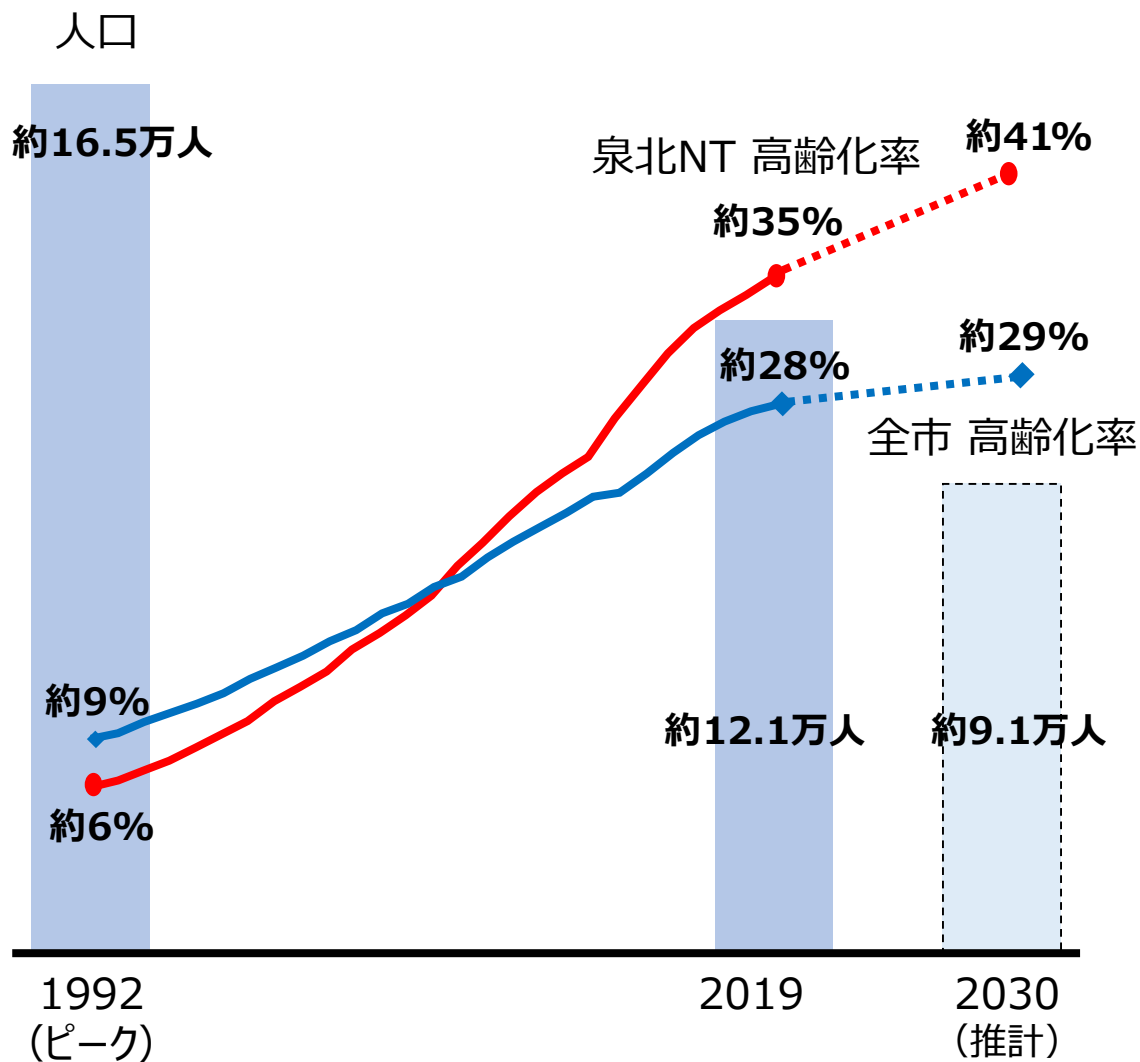
・起伏が激しい

【対策】

・**移動手段の確保**

自宅から鉄道駅、バス停、
店舗、クリニックなど

■ 課題② 人口減少・高齢化



【課題】

- ・若い世代の流出
- ・コミュニティの希薄化
- ・健康の維持増進

【対策】

- ・若年層・子育ての流入促進
- ・高齢者の支援の担い手確保
- ・人が集う場の創出
- ・**移動手段の確保**

課題③ 近隣センターの商業機能の低下

当初 スーパー



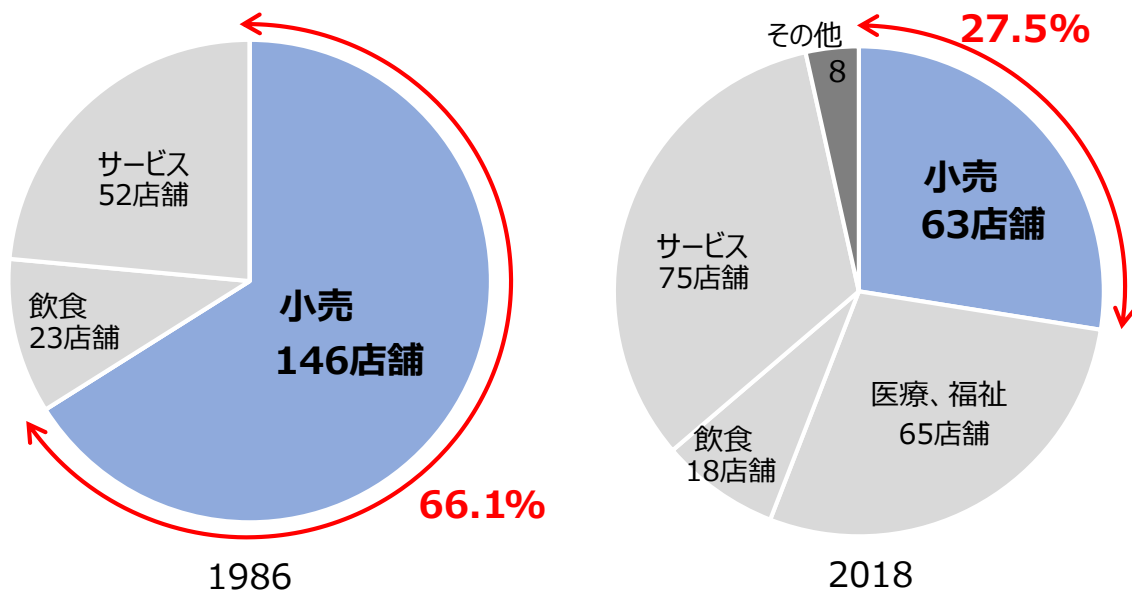
現在 住宅



【課題】

- ・買い物困難
- ・働く場の減少

近隣センターにおける建て替わりの例



近隣センターにおける業種の変化

【対策】

- ・**移動手段の確保**
- ・近隣センター活性化や
ニーズに応じた機能更新

■ 再生に向けたこれまでの取組

高齢者の生活支援

◆ 高齢者のお出かけ応援

市内の路線バス等を
1乗車100円で利用可能



◆ 買い物困難者を支援

買い物支援サービスの情報提供



近隣センターの再生

◆ NPOによる空き店舗活用

NPOによる空き店舗を活用した、
レストランやマーケット、コミュニティ機能



若年世代の定住促進

◆ 住まいアシスト補助制度

子育て世代等が負担する家賃を補助

◆ 住戸リノベーション促進

2戸(45㎡)を1戸(90㎡)に改修
若年夫婦や子育て層に適した住宅へ



市民による魅力発信

◆ 泉北の地域資源+市民の発想

『泉北をつむぐ まちとわたしプロジェクト』
など地域の新たな魅力を創出



医療環境の充実

◆近畿大学医学部及び病院の開設 (2023予定)

近畿大学医学部等とも連携して
健康長寿のまちづくりを推進



市民に開かれたキャンパス

魅力的な子育て環境の整備

◆ビッグバンと泉ヶ丘公園の一体的活用

子どもが一日中楽しめる
遊びの拠点・親も楽しく子育てができる拠点へ



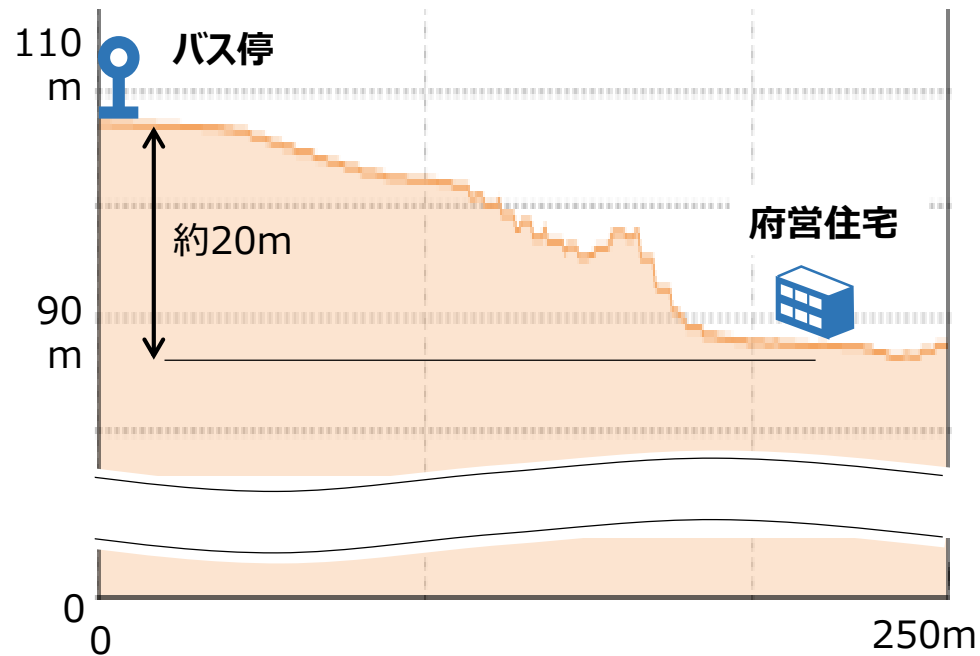
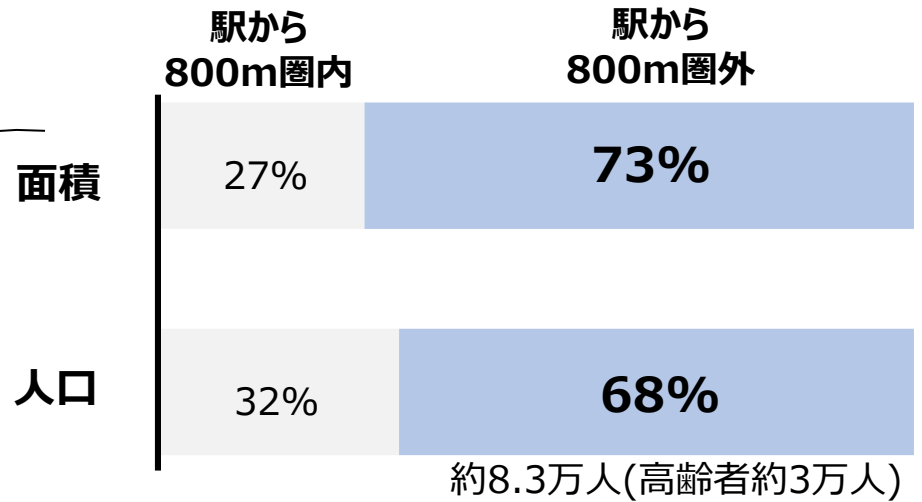
泉北ニュータウン
のまちを変革


◆多様な主体との強固な連携

大阪府、UR、鉄道や健康関連等の
民間事業者などと強固に連携し、
まちのリノベーション、新産業を創出

ICT活用により
強力に推進

■ 泉北NTでのラストワンマイル問題



榎塚台の府営住宅からバス停付近の起伏 

■ ラストワンマイルでのICT活用

(現状) 急な坂道を登ってバス停まで



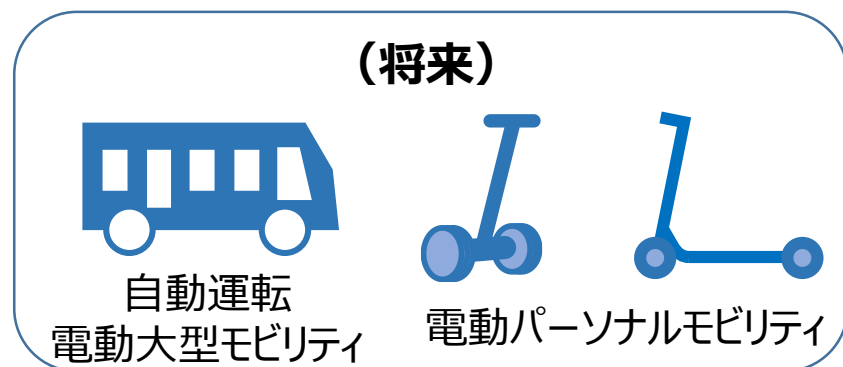
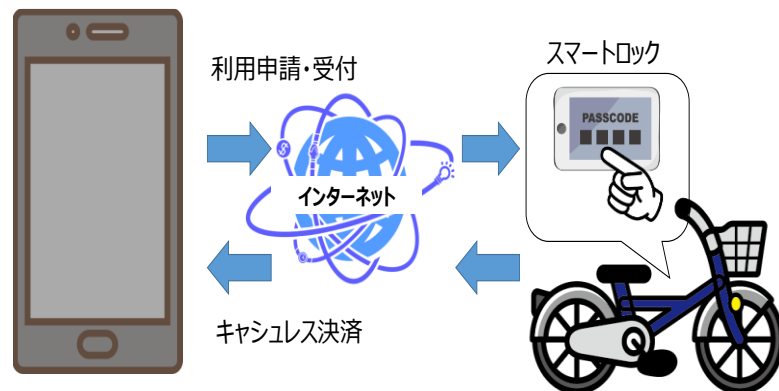
(今後) ラストワンマイルを次世代モビリティ等で支援



【次世代モビリティの社会実験】

(実証中) 槇塚台府営住宅における
ラストワンマイル移動支援に関する社会実験

IoTを活用した
自転車貸出システムの社会実験



【今後の取組】

① 民間事業者等とのネットワークの構築

- 交通事業者やIT関連企業、市民、行政等が連携し、実現可能なMaaSの方策について協議

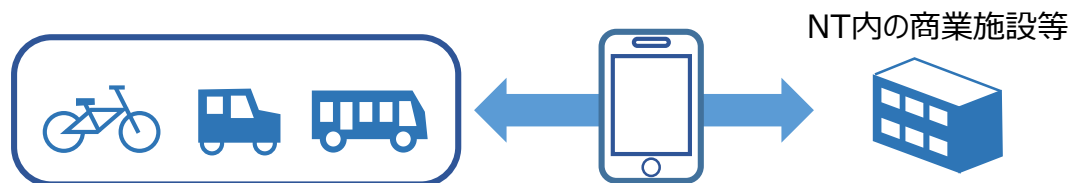
② 情報のシームレス化

- Mobility（シェアサイクルや小型モビリティ、バス等）に関する情報（時刻、料金等）の統合
- 目的及び目的地に関する情報を付加



③ Mobilityと商業施設等の連携

- Mobilityと商業施設等を繋ぐモデルの構築（キャッシュレス決済、ポイント付与 等）



ニュータウン×ICTによる次世代の都市モデル

健康医療

外出機会創出(R1年度)
運動習慣の見える化(R1年度)
健康分析・遠隔健康相談

子ども・教育

学校等の様子をスマホに配信
VRを活用した体験学習
オンライン学習

Mobility

自動運転による移動支援(R1年度)
シェアサイクル
オンデマンド、MaaS

ICT

防犯・防災

無線通信やセンサー等による
高齢者の見守り (H30年度)
危険箇所への対処

生活インフラ

スマートメーターによる省力化
インフラ監視・維持管理の効率化

にぎわい

e-sportsを活用した活性化
アプリ等を活用したまちの案内
ビッグデータを活用した施策展開